

第 7 回

日本拳法愛媛県選手権大会

— 中四国交流推進大会 —



日 時 **平成23年10月2日(日) 午前10時開会**

会 場 **緑の広場（運動公園）総合体育館**

主 催 愛媛県日本拳法連盟
主 管 日本拳法今治スポーツ少年団
後 援 日本拳法連盟 日本拳法全国少年連盟愛媛県
愛媛県教育委員会 今治市教育委員会 東温市教育委員会
(公財)愛媛県体育協会 愛媛新聞社 今治CATV
南海放送 テレビ愛媛 愛媛朝日テレビ あいテレビ



日本拳法宗家
故 澤 山 宗 海 先生

日本拳法概説

日本拳法は、故澤山宗海宗家が昭和7年に日本で初めて防具着装による実戦の拳法を創始されたことにその歴史を発しています。安全な防具を着装することにより、突き・蹴り・投げ・逆捕りのすべての実戦練習が可能となり、格闘技の神髄を追求すべく日本拳法が誕生しました。

従来、突き・蹴り技は格闘技の歴史の始まりである古代相撲においても、戦国時代の武家の体術である柔術においても重要な決め技であったのですが、安全性を重視するために次第に禁じ手とされてきました。

また、中国から沖縄に渡来して発展した唐手もその強力な打撃力のため、形稽古または寸止めにての組手稽古をせざるを得ませんでした。剣術が江戸時代に防具が創案されてから飛躍的にその技術が発達したのと同様に、日本拳法も突き・蹴りの実戦の拳技をみがくために必然的に発生した武道といえます。

現在の日本拳法は3本勝負法で勝敗が決せられます。つまり、2本先取りした方が勝ちとなります。この1本は防具着装部（面・胴）に形にのっとなった強烈な突き・蹴りが決まった場合に認められます。この認定は公平を期するために、3人の審判員の2人以上の認定を必要とし、観客に分かり易くするために、審判員の意志表示は旗によって進行いたします。

また、次のような場合も1本と認定されます。

1. 相手の体を組み敷いて、型どおりの空突き・空蹴りを決めたとき。
1. 逆技を決め、審判が認めるか、相手が参ったの意志表示をしたとき。
1. 相手の体を自分の肩の高さ以上に持ち上げたとき。
1. 相手が故意に場外に逃げ出したとき。

その他、詳しい競技規則は後述する大会試合規定をご参照の上で、日本拳法の競技をお楽しみ下さい。



ごあいさつ

日本拳法連盟

会長 野坂法雄

日本拳法愛媛県選手権も七回目の開催と回を重ね、ますます盛んになっていることを聞き、村上会長を先頭にご苦勞をいただいた皆様に心より感謝の意を表したいと存じます。

本年は、三月の東日本大震災の傷跡も癒えぬ中、この度は台風12号による未曾有の大雨、河川の氾濫、土砂崩れ等々の大災害が再来し、再び多くの貴重な人命が犠牲になりました。心よりお悔やみを申し上げます。また、災害に対し身命を賭した救援活動を展開された自衛隊の皆様、警察、消防、ボランティア、関係各機関の方々に真心からのご慰勞と深甚なる感謝を申し上げます。

地球の気象がこのところ著しく変調をきたしている原因は、人間の驕りと我儘のなせるもの、個人で言えば「俺だけよければよい」「私だけが幸せ(金と外見的美しさ)であればいい」等という自己中心的価値観が巡り巡って己の首を絞めるような結果を招いているのです。

我が國には先祖から与えられた尊い文化があります。「すこしのものを皆で分け合う」「困ったときには助け合う」「疲れた人にはねぎらいの言葉をかける」「弱気を助け悪きをくじく」「年長者を敬い若者を正しく導く」等々。このような素晴らしい精神文化は片隅に押しやられ、自己主張、自己実現が声高に叫ばれて、現代人の価値観の至上とされています。こうした考えが温暖化などの自然破壊につながっているのです。

また、こうした考え方は個人間では喧嘩を生み、それが国家間では戦争となります。人間の愚行の中の愚行が戦争です。勝っても負けても多くの人命が失われ建造物は破壊されて、再生の為には多大の勞力が費消されます。しかも失われた命は取り戻すことができないのです。世界を見渡すと、いまだにこの愚行を繰り返している有様は、とても叡智に長けた人間のすることは思えません。

我々、日本拳法に勤しむ者は、先人の成し遂げた素晴らしい日本文化に感謝し、更にこれを日本のひとびとにはもとより世界のひとびとに押し広げていかねばなりません。

一方、如何なる活動もある程度の規模に成長してくると、必ず内部に亀裂や軋轢が生まれてきます。これは「これは儂のつくったものじゃ」「これまで努力を重ねたのは儂じゃ」といった思い込みから生まれます。これが『私物化する』ということの見本のです。今、我々の日本拳法の中にもこうした事態が生じています。恥ずかしく大変に残念なことであります。

私達はあえて人間に選ばれてこの世の中に派遣された身の上です。派遣されたいのちには使命があります。諸君達には、日本拳法を通じて優れた日本人に成長するとともに、後輩たちを正しく導く使命があるのです。

強く、逞しく、豊かな心をもった日本を取り返すために、日本拳法を愛するものが手を取り合って頑張ってまいりましょう。皆様のますますのご発展を祈念いたします。



ごあいさつ

今治市議会議員

大会会長 井手 洋行

第7回日本拳法愛媛県選手権大会が、東日本大震災復興への強い願いを込めて「がんばろう！日本！」のスローガンのもと盛大に開催される事を心からお祝いを申し上げますとともに、県内外から起こしいただいた皆様を心から歓迎いたします。

本大会は、日本拳法の普及はもとより、武道を通じて青少年の健全育成と「中四国地区交流推進大会」として地域社会の活性化にも大きく貢献しております。これもひとえに関係者のご熱意とご努力の賜と、心から敬意を表します。

さて、武道の精神は「礼に始まり礼に終わる」とよく言われます。

礼というのは、相手を敬い、敬意を表すことです。

日本拳法では、試合開始時、蹲踞（そんきょ）の礼を用います。

蹲踞（そんきょ）の礼は、試合形式の場合に互いに敬愛の心を持ち、相手と交わす礼のことで、日本拳法と同様に剣道、相撲に受け継がれている日本古来の制式です。人と人との関係があつてこそ、社会が成り立っています。

武道の精神の中には、人として大切な事がたくさん詰まっています。

己の「心・技・体」を高め、人として大切な事を、日本拳法を通じてたくさん養っていただきたいと思います。

選手の皆様におかれましては、本大会を通じて、日頃の鍛錬の成果を十分に発揮され、友好・親睦を深めあう貴重な機会としてお互い励ましあいながらご健闘されます事をご期待申し上げます。

最後になりましたが、昨年に引き続き今治市でこのような盛大な大会開催にご尽力下さいました関係各位の皆様にご心よりお礼申し上げますご挨拶とさせていただきます。



ごあいさつ

愛媛県日本拳法連盟会長
日本拳法今治スポーツ少年団団長
大会実行委員長 村上 泰史

第7回日本拳法愛媛県選手権大会開催にあたり、ご挨拶申し上げます。

去る3月11日に発生した東日本大震災により被災されました皆様に、心よりお見舞い申し上げます。犠牲になられた方々の御冥福と、一日も早い被災地域の復興、被災地の皆様が早く元気な心を取り戻されますことをお祈り申し上げます。

未曾有の大災害に見舞われた今、日本がこうした試練を乗り越えて、復活再生に向け、更なる発展を遂げる事が出来るかどうか、この国の真価が問われています。そうした状況の中で、多くの皆様に支えて頂き、中四国各県から多数の選手の参加を得て、本日ここに大会を開催できる運びになりました。

東日本大震災から、復興に取り組んできた人々の心に生きる勇気と元気と明日への希望を持ってもらいたい。地域が元気になって、日本を支える力に、日本を元気にしたい。

「今治から、日本を元気に！」 「愛媛から、日本を元気に！」

そんな願いを込めて、昨年秋に引き続き今治の地で三回目となる「第7回日本拳法愛媛県選手権大会」を「がんばろう！日本！」のスローガンを掲げ、復興への強い願いを込めた元気出せ大会として開催したく存じます。

「元気な日本」復活の鍵は、被災していない地域がまず元気になることです。大会に参加される皆様におかれましては、日頃の鍛錬の成果を十分に発揮し熱戦を繰り広げ、元気で活気溢れる有意義な良き日となりますように祈念致します。

最後に大会開催にあたり、日本拳法連盟、愛媛県、今治市を始め関係各位の皆様のご多大なる温かいご支援ご協力に、心より深い敬意と感謝を申し上げます。ご挨拶とさせていただきます。



祝 辞

今治市長

菅 良 二

第7回日本拳法愛媛県選手権大会が、東日本大震災復興への強い願いを込めた「がんばろう！日本！」のスローガンのもと、盛大に開催されますことを心からお喜び申し上げます。

また、中四国交流推進大会として四国各県をはじめ広島県や岡山県など県内外各地から大勢の選手並びに大会関係者の皆様方を当今治市にお迎えできることを、開催地の市長として大変嬉しく感じております。

日本拳法の正しい普及と地域の振興及び生涯学習の伸長を目的とする本大会が今回で7回目を迎えられるのも、ひとえに愛媛県日本拳法連盟をはじめとする日本拳法を愛する皆様のご尽力の賜でございます。

拳法は、日本古来の武道であり、日々の鍛錬を通して、肉体を鍛えるだけでなく、挨拶や言葉遣いなどの礼節を尊び、正々堂々と勝負する真摯な姿勢や、相手の気持ちを思いやる優しさを身に付けることのできる、まさに「人間力を高めるスポーツ」であると言えます。日本拳法を通じて青少年の心身の鍛錬と健全育成を推進し、地域社会の活性化に多大の貢献をされておりますことに、深く敬意を表する次第でございます。

本大会に出場される県内各地から選ばれた各年代のトップ選手の皆様方におかれましては、日頃の鍛錬の成果を存分に発揮され、愛媛県日本拳法の最高峰の熱い試合が展開されますようご期待申し上げます。

終わりに、本大会の開催にあたりご尽力された愛媛県日本拳法連盟並びに日本拳法今治スポーツ少年団をはじめ関係各位に厚くお礼申し上げますとともに、本日ご参加の皆様方のご健勝を心より祈念いたしまして、お祝いの言葉といたします。

大会役員

大会長	井手 洋行	今治市議会議員
実行委員長	村上 泰史	愛媛県日本拳法連盟会長
来賓	菅 良二	今治市長
	犬塚 矜哉	日本拳法連盟理事長
	福永 正人	日本拳法連盟常任理事審判部長
	松田 牧	日本拳法連盟常任理事指導部長
	福島 利治	中京大学拳真会会長
	竹内 耕一	中京大学拳真会常任理事 (元全日本学生個人選手権大会優勝者)
	国塩 幸平	日本拳法岡山県連盟専務理事
	田渕 芳孝	日本拳法岡山県連盟常任理事
	清原 眞治	日本拳法徳島県連盟理事長
	樋口 健二	日本拳法徳島県連盟会長
	佐藤 博美	香川拳法クラブ代表
	公文 延晴	高知拳法クラブ代表
	神川 孝紀	広島拳法クラブ代表・広島大学日本拳法部監督
	蔵本 雅史	志道館 代表
	玉城 敦	陸上自衛隊善通寺代表
	西川 修	広島拳友会代表
	野崎 真弘	瀬戸内道場代表
	富士原孝憲	拳心館広島支部支部長
	日谷 政規	総社道場代表
	森脇 太	国府道場代表
審判長	福永 正人	七段
副審判長	松田 牧	六段
審判員	田渕 芳孝	六段
	西川 修	五段
	中山 昭彦	四段
	武田 雅昭	三段
	西野 元	三段
	樋口 健二	六段
	森脇 太	五段
	富士原孝憲	四段
	日谷 政規	三段
	矢野 公喜	二段
	公文 延晴	五段
	井原 勇規	四段
	村上 泰史	四段
	藤原 義章	三段

愛媛県日本拳法連盟

顧問 井手 洋行
会長 村上 泰史
理事 矢野 公喜 西野 元 宮澤 圭典
監事 上原 寛 阿部 直仁
事務部 松本 徹 矢野 美香

大会実行委員

大会企画 毛利美紀雄
大会運営総括 主) 上原 寛 副) 安野 健一
式典責任者 矢野 美香
Aコート責任者 主) 井出 美加 副) 門田 美香
Bコート責任者 主) 岡部起代子 副) 伊藤 幸子

今治拳友会 体育会執行部

阿部 直仁 越智 裕保 矢畑 和哉 平野 航太
岡部起代子 田村麻由美

日本拳法今治スポーツ少年団育成母集団・保護者会

門田 省吾 田村 武司 井手 健介 井出 誠司
井出 美加 伊藤陽一郎 伊藤 幸子 大西由香里
門田千恵美 門田 学 門田 美香 佐伯 和史
佐伯 真帆 高橋雄一郎 高橋 直子 高橋 佳江
富田 心 村上 悦子 村上 泰葉

今治拳友会 サポーター

越智 省二 浜野 秀紀 日浅 則和 松木 武蔵
矢畑 颯斗 渡邊 直人 稲本美佐子 越智美智恵
加藤 克志 木浦 浩二 佐々木貴広

東温松山拳友会

越智 寿雄 河上 大 豊島 光宏 矢野 美香

愛媛大学日本拳法愛好会

本田 暁 中野 貴史 西岡 翔

大会事務局長 松本 徹

大会順序

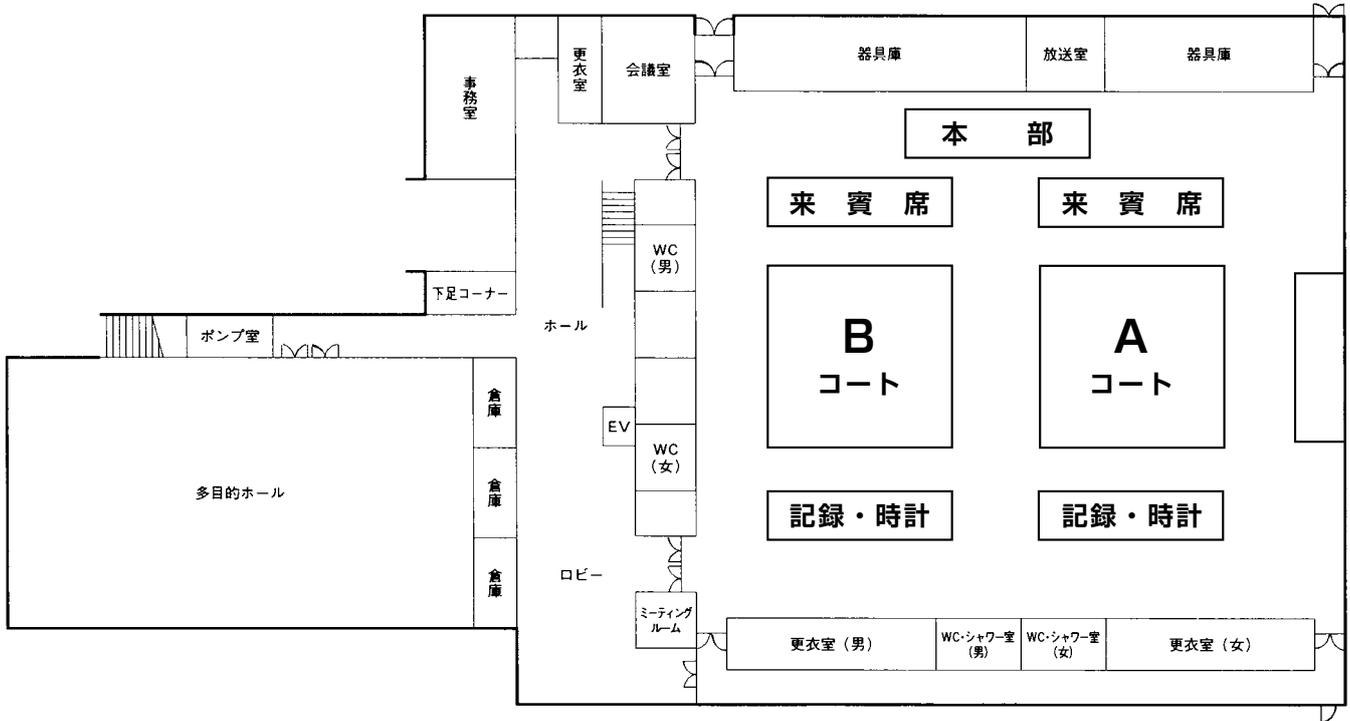
開会式

1. 選手入場・役員整列
2. 開会の辞
3. 国歌斉唱
4. 大会会長挨拶
今治市議会議員
井手洋行
5. 来賓挨拶
日本拳法連盟理事長
犬塚矜哉様
今治市長
菅良二様
中京大学拳真会会長
福島利治様
6. 来賓ご紹介
7. 審判長挨拶
日本拳法連盟常任理事・審判部長
福永正人様
8. 選手宣誓
今治市立日高小学校4年生
佐伯勇飛選手
東温市立北吉井小学校5年生
河上椎南選手
9. 選手退場

閉会式

1. 選手入場・役員整列
2. 入賞者表彰
3. 講評
日本拳法連盟常任理事・指導部長
松田牧様
4. 実行委員長挨拶
愛媛県日本拳法連盟会長
村上泰史
5. 閉会の辞
6. 選手退場

会 場 図



タイムスケジュール

9:45	開会式	9:45												
		10:15												
10:25	午前の部 (個人戦)	10:25 10:43 10:55 11:19 11:35 11:53 12:05	Aコート				10:25 10:41 11:09 11:29 11:49 12:04	Bコート						
				選手数	試合数	所要時間			選手数	試合数	所要時間			
			幼年	7	9	18		小学1・2年(男)	6	8	16			
			小学1・2年(女)	5	6	12		小学3年	10	14	28			
			小学4年	9	12	24		小学5年(男)	8	10	20			
			小学5・6年(女)	6	8	16		小学6年(男)	8	10	20			
			中学生1年	7	9	18		高校生	4	6	15			
			中学生2・3年	5	6	12		合計	36	48	99			
			合計	39	50	100								
12:05	休憩													
	午後の部 (団体戦)	13:00	Aコート				13:00	Bコート						
				団体数	試合数	所要時間			団体数	試合数	所要時間			
	(個人戦)	14:25	Aコート				14:25	Bコート						
				選手数	試合数	所要時間			選手数	試合数	所要時間			
			一般段外	23	22	44		一般段外	23	22	44			
			(三位決定戦～決勝)	4	2	4								
	(団体戦)	15:30	Aコート				15:30	Bコート						
				団体数	試合数	所要時間			団体数	試合数	所要時間			
			(決勝戦)	2	1	12		(三位決定戦)	2	1	12			
	合計	27	24	48	合計	23	22	44						
16:00	閉会式													
16:30														

大会競技規則

団体戦

1. 試合方法

- ・対試合は五人制とし、勝者数の多いチームの勝ちとする。
- ・3本勝負（2本先取した者の勝ち）とする。
- ・1本先取にて時間切れの場合は、1本先取者の勝ち。
- ・警告点1回0.5は勝敗には不採用、但し2回で1本を相手に与える。
- ・時間切れ引分けの時は引分け。
- ・団体勝利は勝ち数の多いほうの勝ち。
- ・勝敗同数の時は引分けとし、代表者戦にて勝敗を決するものとする。
（チーム勝敗には、本数は採用しない。）
- ・代表者戦は、3本勝負にて行ない、同点の時は延長1分間1本勝負、なお決さざるときは判定とする。
（ただし、決勝戦・三位決定戦のみ無制限一本勝負とする。）

2. 試合時間

- ・試合時間は2分間とする。主審より指示がない限り時計は止めない。

3. 対試合における選手の配列

- ・有段者を有するチームは、必ず大将に有段者を配さねばならない。
- ・出場選手が定員に満たない場合、大将、先鋒以外の選手の配置は自由とする。但し、両チーム共に定員に満たない場合は、大将、先鋒以外の選手の配置は、提出されたメンバー表の順に副将より後詰めとする。

4. 登録選手の入替え

- ・前日までに届出の無い当日の変更は、理由の如何に関わらず認めない。
- ・登録選手以外の出場は、当日の全試合を失格・没収試合とし負けとする。
（試合後、発表後の発覚であってもこれに準ずる。）
- ・チームの登録選手が止むなき事情により欠員が生じ、チーム編成（5名）が不可能になった場合に限り、5名に満たない不足者数に対してのみ補充を認める。

5. その他は、日本拳法全国連盟競技規則に準じて実施する。

大会競技規則

少年の部（幼年・小学生・中学生）

1. 試合方法

- ・ 3本勝負（2本先取した者の勝ち）とする。
- ・ 1本先取後、試合時間終了の時、1本先取者の優勢勝ちとする。
- ・ 試合時間内に勝敗が決しない時、判定によって勝敗を決する。
- ・ 決勝戦のみ、試合時間内に勝敗が決しない時、1分間1本勝負の延長戦を行う。さらに勝敗が決しない時、延長戦における判定によって勝敗を決する。
- ・ 警告は3回で2本負けとする。

2. 試合時間

- ・ 試合時間は1分30秒とする。主審より指示がない限り時計は止めない。

3. 顔面への攻撃は全て「空撃」で当てない。又、顔面への蹴り技は横蹴りのみとする。

4. 敗者復活戦のエントリーは、一回戦を勝ち上がった者を除く。

5. その他は、日本拳法全国少年連盟競技規則に則って行います。

一般男子段外、一般女子の部

1. 試合方法

- ・ 3本勝負（2本先取した者の勝ち）とする。
- ・ 1本先取後、試合時間終了の時、1本先取者の優勢勝ちとする。
- ・ 試合時間内に勝敗が決しない時、判定によって勝敗を決する。
- ・ 三位決定戦、決勝戦のみ、試合時間内に勝敗が決しない時、時間無制限の1本勝負の延長戦により勝敗を決する。

2. 試合時間

- ・ 試合時間は2分間とする。主審より指示がない限り時計は止めない。

3. その他は、日本拳法全国連盟競技規則に則って行います。

団体戦 出場者名簿

今治拳友会 A

代表者 村上泰史

村	上	泰	史	四段
阿	部	直	仁	1級
越	智	裕	保	1級
矢	畑	和	哉	2級
平	野	航	太	3級
松	本		徹	1級
田	村	武	司	7級
門	田	省	吾	無級

東温松山拳友会

代表者 矢野公喜

中	岡	大	起	四段
宮	澤	圭	典	三段
山	村	忠	明	二段
矢	野	公	喜	二段
豊	島	光	宏	1級

今治拳友会 B

代表者 村上泰史

佐	伯	和	史	無級
日	浅	則	和	無級
渡	邊	直	人	無級
浜	野	秀	紀	5級
矢	畑	颯	斗	5級
松	木	武	蔵	無級
廣	瀬	淳	一	無級
越	智	省	二	無級

中京大学拳真会

代表者 福島利治

岩	井	秀	記	五段
沢	田	一	朗	四段
平	野	誠	二	三段
吉	武	祥	平	三段
本	江	克	洋	三段
笹	部	信	彦	五段
竹	内	耕	一	五段
稲	垣	晴	大	四段

団体戦 出場者名簿

岡山商科大学日本拳法部A

代表者 亀山 浩太郎

亀山 浩太郎	二段
大田 隼	二段
渋谷 典広	二段
延藤 潤	二段
青木 一真	初段
稲本 博孝	初段
高橋 諒	1級
大口 和真	1級

岡山拳桃会

代表者 野崎 真弘

野崎 真弘	三段
藤原 義章	三段
馬野 信吾	初段
森若 新平	三段
門田 剛	三段
後山 真太郎	四段

岡山商科大学日本拳法部B

代表者 亀山 浩太郎

安藤 宗久	1級
岩津 未来	2級
須郷 大地	2級
岩崎 隆	3級
井上 貴広	3級
佐藤 友紀	3級
馬場 智之	3級
松尾 崇雅	3級

総社道場

代表者 日谷 政規

矢野 真睦	四段
日谷 政規	三段
水嶋 康二	三段
内田 健一郎	初段
藤原 稔	2級
平松 弘充	2級
村澤 伸二	2級
森 敬一	3級

団体戦 出場者名簿

香川拳法クラブ

代表者 佐 藤 博 美

岩 嶋 良 浩	四段
佐 藤 智 之	四段
佐 藤 正 典	四段
森 英 之	三段
重 井 佳 章	初段
宮 武 寛 幸	初段
十 鳥 誠 司	初段

陸上自衛隊善通寺 B

代表者 玉 城 篤

松 岡 雅 芳	初段
長 谷 智 明	1 級
井 上 翔 太	1 級
重 見 宗	初段
越 智 周 次	1 級

陸上自衛隊善通寺 A

代表者 玉 城 篤

森 江 幸 広	初段
平 博 喜	初段
藤 本 宏 昭	初段
土 井 大 介	初段
川 向 敦 支	初段

陸上自衛隊善通寺 C

代表者 玉 城 篤

七 河 将 太	2 級
織 田 卓 郎	2 級
財 津 龍 次	1 級
臺 丸 也 基 樹	2 級
田 村 寛 大	1 級

団体戦 出場者名簿

日本拳法徳島県連盟

代表者 樋口 健二

岩井 亮輔	三段
柴田 幸治	二段
藪原 啓晃	二段
岡田 克雄	二段
濱尾 紘光	1級

高知拳法クラブ

代表者 公文 延晴

公文 延晴	五段
中山 昭彦	四段
河村 神州	三段
楠見 博文	二段
公文 貴之	二段
植田 高志	2級
門田 和久	2級
節安 誠司	2級

国府道場

代表者 森脇 太

今井 雅人	三段
橋本 昌夫	二段
永野 一水	1級
岡野 光洋	二段
高田 征児	3級
上田 晃輝	1級

広島大学日本拳法部

代表者 前田 晃樹

山部 孝弘	三段
吉田 修一郎	初段
山中 謙太郎	1級
金森 裕次	四段
佐藤 太郎	二段
前田 晃樹	1級
大西 祐介	無級
國貞 祐介	無級

試合組み合わせ

■団体戦

- 1 香川拳法クラブ
- 2 陸上自衛隊善通寺C
- 3 岡山商大日本拳法部B
- 4 今治拳友会B
- 5 日本拳法徳島県連盟
- 6 岡山拳桃会
- 7 陸上自衛隊善通寺B
- 8 東温松山拳友会
- 9 中京大学拳真会
- 10 広大拳法部
- 11 国府道場
- 12 岡山商大日本拳法部A
- 13 総社道場
- 14 今治拳友会A
- 15 高知拳法クラブ
- 16 陸上自衛隊善通寺A

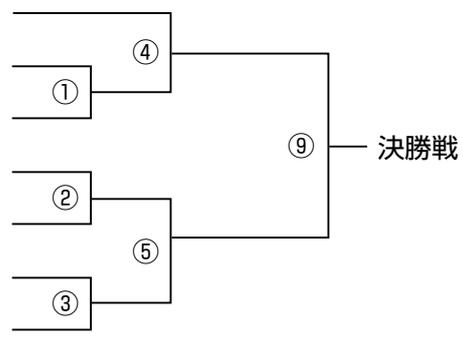


選手番号の大きい方が赤
選手番号の小さい方が白

試合組み合わせ

■幼年の部 9 試合

- | | | |
|---|--|--------------------|
| 1 | <small>のばたぎんのすけ</small>
野端 吟之介 | 無級 (広島 / 広島拳法クラブ) |
| 2 | <small>やない しろうき</small>
柳井 将希 | 無級 (岡山 / 岡山道場) |
| 3 | <small>いで ななせ</small>
井出 七星 | 10級 (愛媛 / 今治拳友会) |
| 4 | <small>たむらこたろう</small>
田村 虎太郎 | 10級 (愛媛 / 今治拳友会) |
| 5 | <small>みなみ しゅうと</small>
南 柊澄 | 無級 (徳島 / 国府道場) |
| 6 | <small>にしかわ はると</small>
西川 春太 | 10級 (広島 / 広島拳友会) |
| 7 | <small>やの まさむね</small>
矢野 正宗 | 10級 (愛媛 / 東温松山拳友会) |



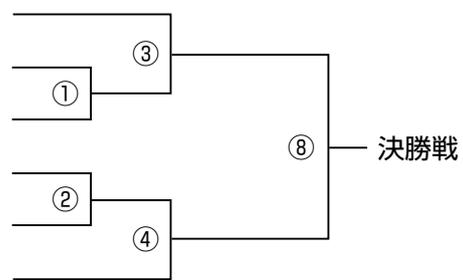
- ①の敗者
- ②の敗者
- ③の敗者
- ④の敗者



選手番号の大きい方が赤
選手番号の小さい方が白

■小学1・2年生男子の部 8 試合

- | | | |
|---|---|-------------------|
| 1 | <small>おかだ まひろ</small>
岡田 真宙 | 8級 (徳島 / 徳島県連盟) |
| 2 | <small>ささき りくと</small>
佐々木 陸登 | 無級 (広島 / 広島拳法クラブ) |
| 3 | <small>おおにし てんむ</small>
大西 天夢 | 10級 (愛媛 / 今治拳友会) |
| 4 | <small>ひろせ ごうき</small>
廣瀬 合輝 | 9級 (愛媛 / 今治拳友会) |
| 5 | <small>やない りゅうき</small>
柳井 隆希 | 無級 (岡山 / 岡山道場) |
| 6 | <small>はま かいと</small>
濱 快翔 | 8級 (徳島 / 志道館) |



- ①の敗者
- ②の敗者
- ③の敗者
- ④の敗者

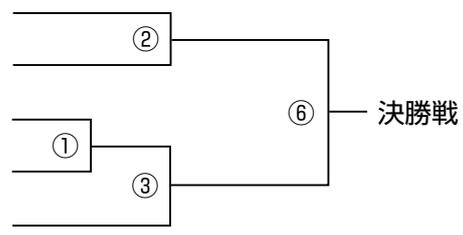


選手番号の大きい方が赤
選手番号の小さい方が白

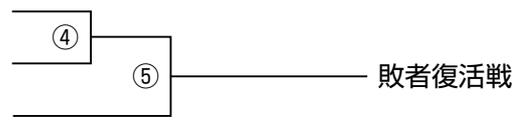
試合組み合わせ

■小学1・2年生女子の部 6 試合

- | | | |
|---|---|-------------------|
| 1 | <small>たかはし のりこ</small>
高橋 典子 | 7 級 (愛媛 / 今治拳友会) |
| 2 | <small>ふじわらはるか</small>
富士原遥香 | 無級 (広島 / 拳心館広島支部) |
| 3 | <small>たむら もも</small>
田村 百萌 | 7 級 (愛媛 / 今治拳友会) |
| 4 | <small>しんしゃな なみ</small>
新舎菜々美 | 無級 (岡山 / 岡山道場) |
| 5 | <small>いとう りんか</small>
伊藤 凜香 | 7 級 (愛媛 / 今治拳友会) |



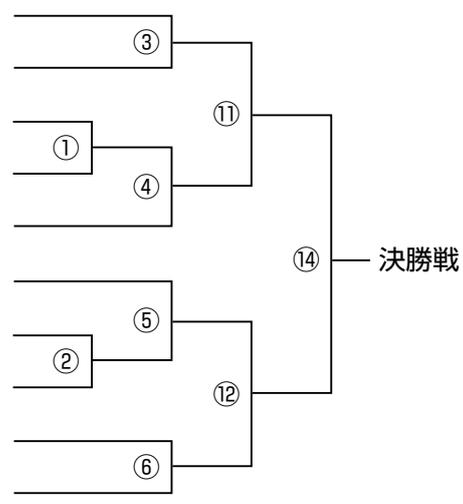
- ①の敗者
- ②の敗者
- ③の敗者



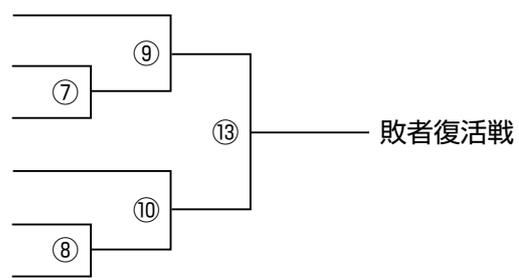
選手番号の大きい方が赤
選手番号の小さい方が白

■小学3年生の部 14 試合

- | | | |
|----|--|--------------------|
| 1 | <small>たにかわ はやと</small>
谷川 隼人 | 7 級 (香川 / 香川拳法クラブ) |
| 2 | <small>おおもり ようへい</small>
大森 陽平 | 8 級 (広島 / 広島拳友会) |
| 3 | <small>やの ももこ</small>
矢野 百姫 | 8 級 (愛媛 / 東温松山拳友会) |
| 4 | <small>のばた いつき</small>
野端 一葵 | 9 級 (広島 / 広島拳法クラブ) |
| 5 | <small>たにもとしんのすけ</small>
谷本真之輔 | 5 級 (岡山 / 総社道場) |
| 6 | <small>さかぐち しんや</small>
坂口 慎弥 | 5 級 (岡山 / 瀬戸内道場) |
| 7 | <small>さえき あかね</small>
佐伯 朱音 | 無級 (愛媛 / 今治拳友会) |
| 8 | <small>うちだ ゆうき</small>
内田 優希 | 無級 (岡山 / 総社道場) |
| 9 | <small>かわかみ かな</small>
河上 陽南 | 9 級 (愛媛 / 東温松山拳友会) |
| 10 | <small>ささき ゆう</small>
佐々木 悠 | 8 級 (広島 / 広島拳法クラブ) |



- ①の敗者
- ②の敗者
- ③の敗者
- ④の敗者
- ⑤の敗者
- ⑥の敗者

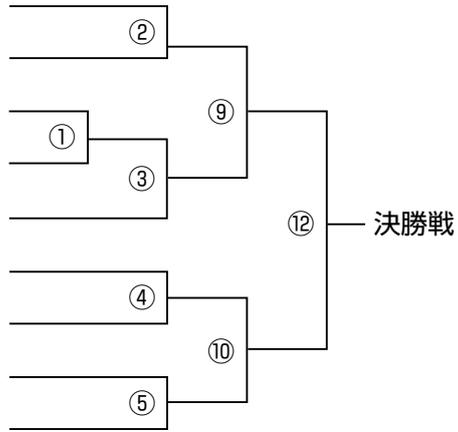


選手番号の大きい方が赤
選手番号の小さい方が白

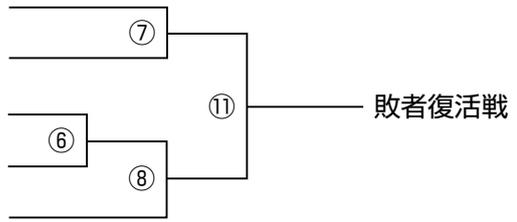
試合組み合わせ

■小学4年生の部 12 試合

- | | | |
|---|-------------------|--------------------|
| 1 | かどた けいた
門田 佳大 | 5 級 (愛媛 / 今治拳友会) |
| 2 | しらい たかひろ
白井 孝拓 | 6 級 (香川 / 香川拳法クラブ) |
| 3 | ふじわら なおき
富士原直輝 | 無級 (広島 / 拳心館広島支部) |
| 4 | さえき ゆうひ
佐伯 勇飛 | 8 級 (愛媛 / 今治拳友会) |
| 5 | むらさわ ゆうた
村澤 悠太 | 5 級 (岡山 / 総社道場) |
| 6 | もりた なおと
森田 直人 | 6 級 (香川 / 香川拳法クラブ) |
| 7 | ひろせ かんた
廣瀬 寛人 | 6 級 (愛媛 / 今治拳友会) |
| 8 | てらお はやと
寺尾 颯人 | 7 級 (徳島 / 徳島県連盟) |
| 9 | しんしゃ たくみ
新舎 拓巳 | 3 級 (岡山 / 岡山道場) |



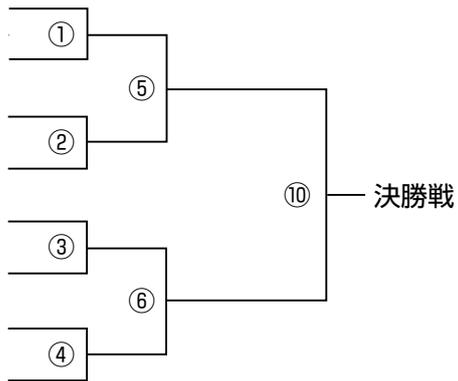
- ①の敗者
- ②の敗者
- ③の敗者
- ④の敗者
- ⑤の敗者



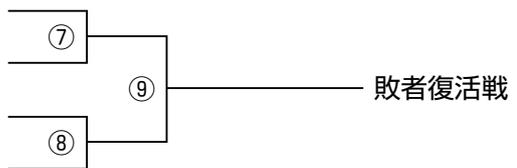
選手番号の大きい方が赤
選手番号の小さい方が白

■小学5年生男子の部 10 試合

- | | | |
|---|--------------------|--------------------|
| 1 | かじはら ちさと
梶原 千聖 | 2 級 (徳島 / 国府道場) |
| 2 | やまぐち れん
山口 蓮 | 5 級 (広島 / 広島拳法クラブ) |
| 3 | とみなが ゆう
富永 優 | 6 級 (徳島 / 志道館) |
| 4 | てらお こうや
寺尾 光矢 | 5 級 (徳島 / 徳島県連盟) |
| 5 | うえつき らんまる
植月 嵐丸 | 6 級 (広島 / 広島拳友会) |
| 6 | たどころ てるき
田所 照暉 | 8 級 (徳島 / 徳島県連盟) |
| 7 | やまぐち はやと
山口 颯斗 | 無級 (岡山 / 瀬戸内道場) |
| 8 | まるおか まこと
丸岡 誠 | 2 級 (徳島 / 国府道場) |



- ①の敗者
- ②の敗者
- ③の敗者
- ④の敗者

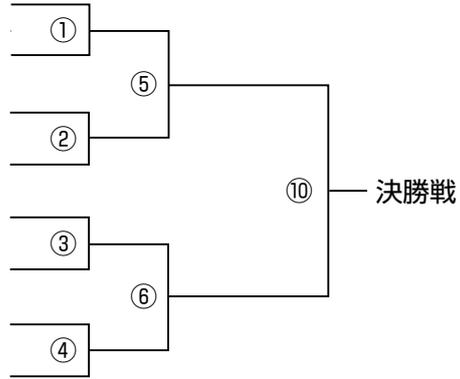


選手番号の大きい方が赤
選手番号の小さい方が白

試合組み合わせ

■小学6年生男子の部 10試合

- | | | | |
|---|----------------------------------|----------------------------------|-------------------|
| 1 | <small>みなみ</small>
南 | <small>そうま</small>
颯馬 | 2級 (徳島 / 国府道場) |
| 2 | <small>うまの</small>
馬野 | <small>がんじ</small>
頑志 | 3級 (岡山 / 岡山道場) |
| 3 | <small>のうそ</small>
能祖 | <small>りど</small>
莉人 | 6級 (香川 / 香川拳法クラブ) |
| 4 | <small>いまいし</small>
今石 | <small>かいと</small>
開登 | 4級 (広島 / 広島拳法クラブ) |
| 5 | <small>いしかわ</small>
石川 | <small>だいき</small>
大樹 | 2級 (徳島 / 国府道場) |
| 6 | <small>ふくい</small>
福井 | <small>あつき</small>
敦貴 | 6級 (広島 / 広島拳友会) |
| 7 | <small>てんしん</small>
天真 | <small>かいと</small>
海斗 | 5級 (徳島 / 徳島県連盟) |
| 8 | <small>かわべ</small>
川部 | <small>しょうた</small>
翔太 | 3級 (岡山 / 瀬戸内道場) |



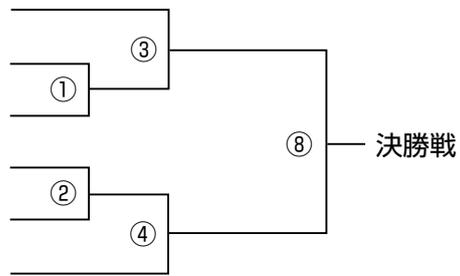
- ①の敗者
- ②の敗者
- ③の敗者
- ④の敗者



選手番号の大きい方が赤
選手番号の小さい方が白

■小学5・6年生女子の部 8試合

- | | | | |
|---|----------------------------------|----------------------------------|-------------------|
| 1 | <small>たにかわ</small>
谷川 | <small>ももか</small>
百華 | 7級 (香川 / 香川拳法クラブ) |
| 2 | <small>うえた</small>
上田 | <small>かほ</small>
果歩 | 6級 (徳島 / 国府道場) |
| 3 | <small>かどたま</small>
門田 | <small>まなみ</small>
茉那美 | 6級 (愛媛 / 今治拳友会) |
| 4 | <small>はしもと</small>
橋本 | <small>なみ</small>
奈実 | 5級 (徳島 / 国府道場) |
| 5 | <small>かわかみ</small>
河上 | <small>しいな</small>
椎南 | 8級 (愛媛 / 東温松山拳友会) |
| 6 | <small>はらだ</small>
原田 | <small>みわ</small>
実和 | 2級 (徳島 / 国府道場) |



- ①の敗者
- ②の敗者
- ③の敗者
- ④の敗者

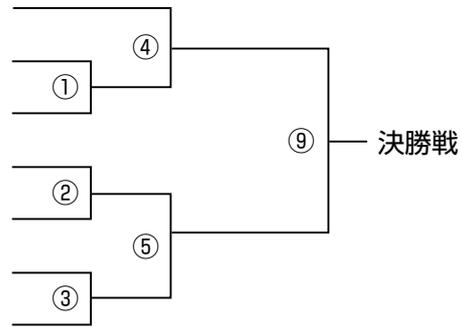


選手番号の大きい方が赤
選手番号の小さい方が白

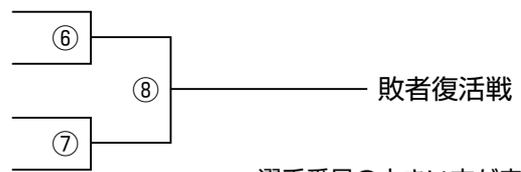
試合組み合わせ

■中学1年生の部 9 試合

- | | | | |
|---|------------|-------------|-----------------|
| 1 | ふじわら
藤原 | じん
仁 | 3級 (岡山 / 瀬戸内道場) |
| 2 | とみた
富田 | りゅうき
竜輝 | 7級 (愛媛 / 今治拳友会) |
| 3 | はらだ
原田 | かずあき
和明 | 1級 (徳島 / 国府道場) |
| 4 | みま
三馬 | きょうすけ
恭佑 | 4級 (徳島 / 国府道場) |
| 5 | うちだ
内田 | だいき
大貴 | 3級 (岡山 / 瀬戸内道場) |
| 6 | やばた
矢畑 | かつき
克騎 | 5級 (愛媛 / 今治拳友会) |
| 7 | とみなが
富永 | りょう
涼 | 6級 (徳島 / 志道館) |



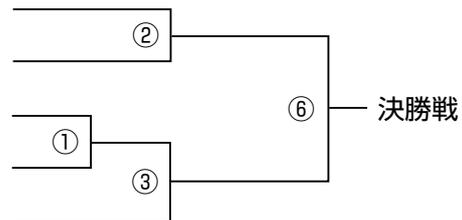
- ①の敗者
- ②の敗者
- ③の敗者
- ④の敗者



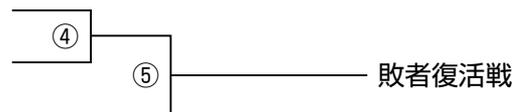
選手番号の大きい方が赤
選手番号の小さい方が白

■中学2・3年生の部 6 試合

- | | | | |
|---|------------|------------|-------------------|
| 1 | うちだ
内田 | けんすけ
健介 | 2級 (岡山 / 瀬戸内道場) |
| 2 | みま
三馬 | かずき
和希 | 4級 (徳島 / 国府道場) |
| 3 | いまいし
今石 | ゆうひ
優飛 | 無級 (広島 / 広島拳法クラブ) |
| 4 | くろだ
黒田 | りょう
諒 | 2級 (徳島 / 志道館) |
| 5 | ふじわら
藤原 | つばさ
翼 | 1級 (岡山 / 瀬戸内道場) |



- ①の敗者
- ②の敗者
- ③の敗者



選手番号の大きい方が赤
選手番号の小さい方が白

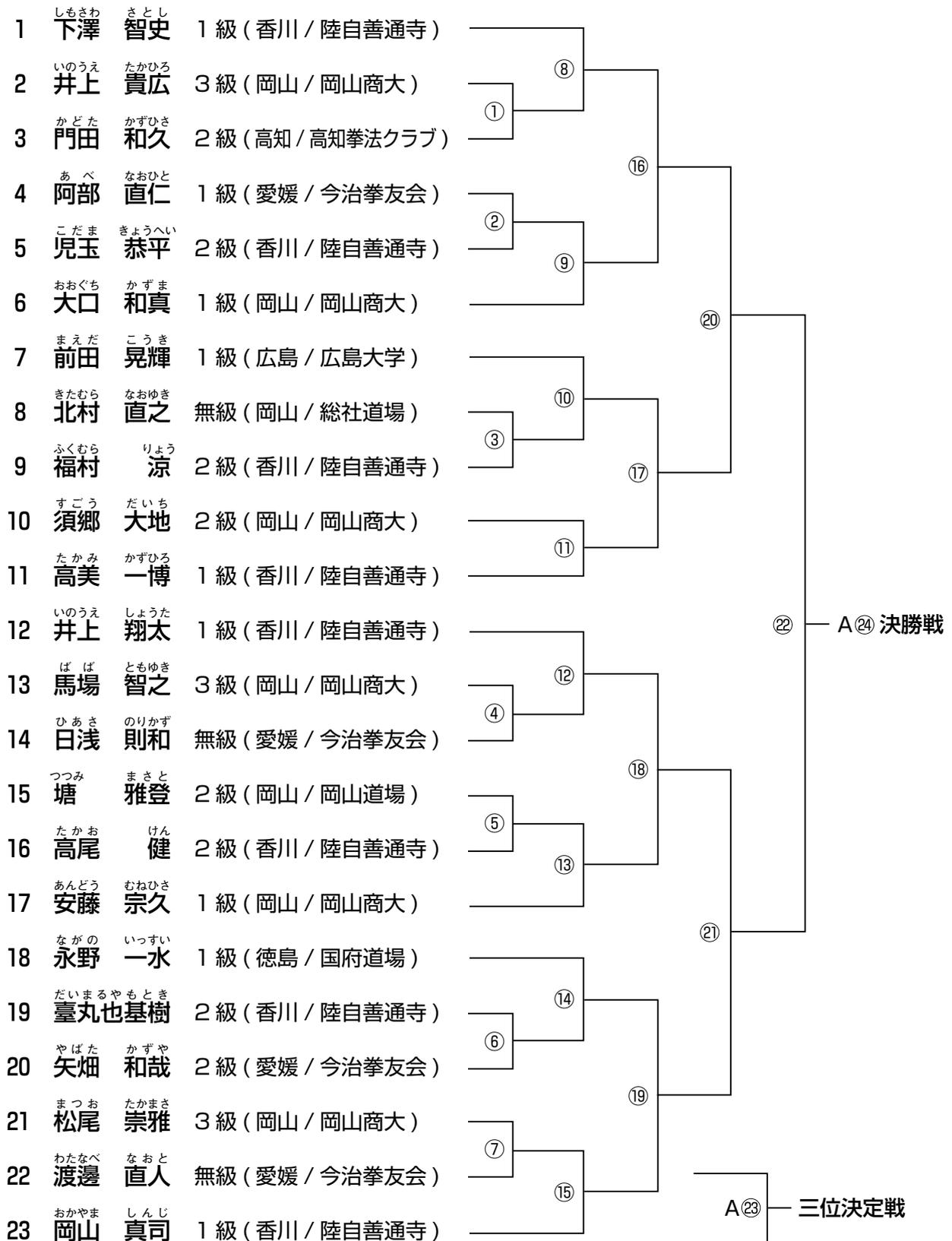
■高校生の部

	1 つる げんき 水流 元気	2 やばた はやと 矢畑 颯斗	3 うえた こうき 上田 晃輝	4 はまお ひろみつ 濱尾 紘光
1 つる げんき 水流 元気 8級 (広島 / 広島拳友会)		①	③	⑤
2 やばた はやと 矢畑 颯斗 5級 (愛媛 / 今治拳友会)	①		⑥	④
3 うえた こうき 上田 晃輝 1級 (徳島 / 国府道場)	③	⑥		②
4 はまお ひろみつ 濱尾 紘光 1級 (徳島 / 徳島県連盟)	⑤	④	②	

選手番号の大きい方が赤
選手番号の小さい方が白

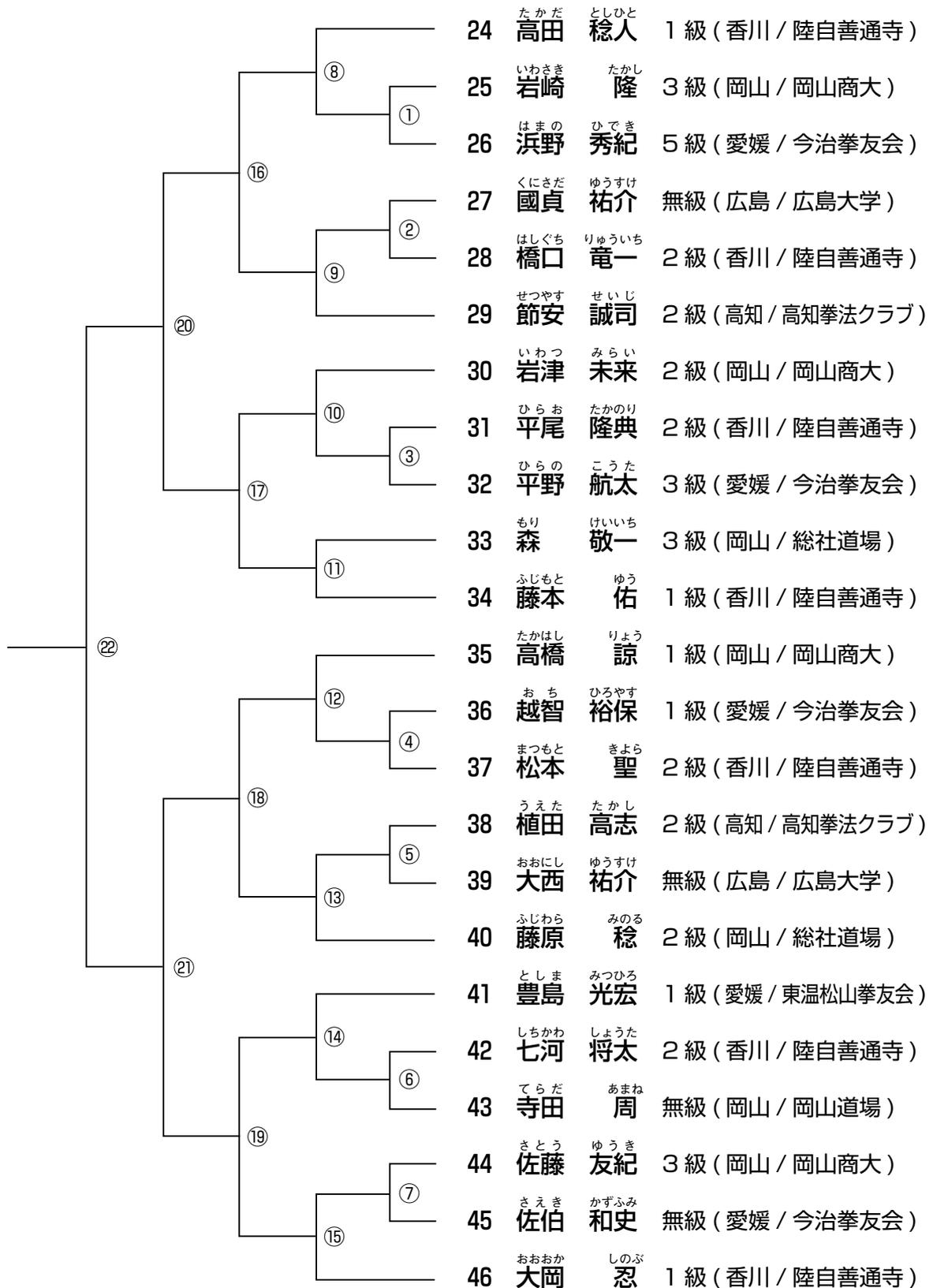
試合組み合わせ

■一般段外の部



選手番号の大きい方が赤
選手番号の小さい方が白

試合組み合わせ



日本拳法愛媛県選手権大会 歴代戦績一覧

第1回(個人戦)

2006(平成18)年9月3日

松山市/愛媛県立武道館

試合部門	優勝	準優勝	第3位	
一般 (段外者)	越智 拓也 2級 (愛媛/松山拳友会)	松岡 達矢 1級 (岡山/岡山商科大学)	竹田 正 3級 (高知/自衛隊高知)	
一般 (有段者)	坂井 栄治 参段 (徳島/本部道場)	林 利明 参段 (徳島/本部道場)	久米 敦 参段 (徳島/徳島大学)	

第2回(個人戦)

2007(平成19)年4月22日

松山市/愛媛県立武道館

試合部門	優勝	準優勝	第3位	
一般 (段外者)	大岡 忍 1級 (香川/陸自善通寺)	中原 雅貴 1級 (徳島/本部道場)	浜田 武 1級 (香川/陸自善通寺)	
一般 (有段者)	佐藤 智之 四段 (香川/香川拳法クラブ)	桑井 隆和 参段 (徳島/徳島県支部)	坂井 栄治 参段 (徳島/本部道場)	

第3回(団体戦)

2007(平成19)年9月2日

松山市/愛媛県立武道館

試合部門	優勝	準優勝	第3位	
【団体】	香川拳法クラブ(香川)	岡山拳桃会(岡山)	岡山商科大学 日本拳法部A(岡山)	

第4回(団体戦)(個人戦)

2008(平成20)年10月5日

松山市/愛媛県立武道館

試合部門	優勝	準優勝	第3位	
小学生 1・2年	丸岡 誠 6級 (徳島/国府道場)	植月嵐丸 8級 (広島/広島拳友会)	石原 拳士郎 8級 (徳島/国府道場)	郡 新大 6級 (徳島/国府道場)
小学生 3・4年	中村 友哉 4級 (徳島/国府道場)	南 颯馬 5級 (徳島/国府道場)	石原 慎之介 5級 (徳島/国府道場)	石川 大樹 6級 (徳島/国府道場)
小学生 5・6年	富尾 哲也 3級 (徳島/国府道場)	中島 彩都子 7級 (広島/広島拳友会)	三馬 和希 6級 (徳島/国府道場)	廣瀬 泰巳 2級 (岡山/もののふ塾)
中学生	上田 晃輝 1級 (徳島/国府道場)	濱尾 紘光 1級 (徳島/徳島県支部)	壺内 雄平 無級 (愛媛/今治拳友会)	
女子一般	山中 梨沙 2級 (香川/香川拳法クラブ)			
一般 (段外者)	永野 一水 3級 (徳島/国府道場)	長橋 伸二 1級 (愛媛/今治拳友会)	藤江 瑞樹 3級 (岡山/岡山商科大学)	
一般 (有段者)	佐藤 正典 四段 (香川/香川拳法クラブ)	綾 亮 四段 (広島/広島拳法クラブ)	佐藤 智之 四段 (香川/香川拳法クラブ)	
【団体】	香川拳法クラブ(香川)	岡山商科大学 日本拳法部A(岡山)	岡山商科大学拳桃会と 瀬戸内道場(岡山)	日本拳法連盟 徳島県支部(徳島)

※少年の部公開競技

第5回(団体戦)(個人戦)

2009(平成21)年10月4日 今治市/緑の広場(運動公園)総合体育館

試合部門	優勝	準優勝	第3位	敢闘賞	
幼年	高橋 典子 9級 (愛媛/今治拳友会)	伊藤 凜香 9級 (愛媛/今治拳友会)	田村 百萌 8級 (愛媛/今治拳友会)	田村虎太郎 10級 (愛媛/今治拳友会)	富士原遥香 無級 (広島/拳心館広島支部)
小学生 1年	佐々木 悠 9級 (広島/広島拳法クラブ)	坂口 慎弥 無級 (岡山/瀬戸内道場)	吉田陽之介 無級 (岡山/瀬戸内道場)	野端 一葵 無級 (広島/広島拳法クラブ)	
小学生 2年	新舎 拓巳 5級 (岡山/岡山道場)	森田 直人 7級 (香川/香川拳法クラブ)	石原 拳士郎 6級 (徳島/国府道場)	本田 義人 6級 (徳島/国府道場)	
小学生 3年	郡 新大 4級 (徳島/国府道場)	丸岡 誠 4級 (徳島/国府道場)	植月 嵐丸 7級 (広島/広島拳友会)	吉田 かな 無級 (岡山/瀬戸内道場)	

日本拳法愛媛県選手権大会 歴代戦績一覧

試合部門	優勝	準優勝	第3位	敢闘賞	
小学生 4年	井村 直貴 6級 (広島/広島拳法クラブ)	石川 大樹 4級 (徳島/国府道場)	山下 司 8級 (広島/広島拳友会)	川部 翔太 4級 (岡山/瀬戸内道場)	
小学生 5年	藤原 仁 4級 (岡山/瀬戸内道場)	内田 大貴 4級 (岡山/瀬戸内道場)	井川 雅大 3級 (徳島/国府道場)	近藤 元 7級 (愛媛/今治拳友会)	
小学生 6年	今石 優飛 4級 (広島/広島拳法クラブ)	高橋 佳江 7級 (愛媛/今治拳友会)	長橋 龍我 8級 (愛媛/今治拳友会)		
中学生	上田 晃輝 1級 (徳島/国府道場)	藤原 翼 2級 (岡山/瀬戸内道場)	内田 健介 3級 (岡山/瀬戸内道場)	吉田 ゆい 7級 (愛媛/今治拳友会)	
一般女子	山中 智視 1級 (香川/香川拳法クラブ)	山中 梨沙 2級 (香川/香川拳法クラブ)	稲本 美佐子 3級 (愛媛/今治拳友会)	楠橋 慶子 3級 (愛媛/今治拳友会)	田村 麻由美 7級 (愛媛/今治拳友会)
一般 (段外者)	重井 佳章 1級 (香川/香川拳法クラブ)	藤本 宏昭 無級 (香川/陸自善通寺)	村尾 亮 2級 (香川/香川拳法クラブ)	細野 翔太 1級 (岡山/岡山商大)	
【団体】	日本拳法連盟 徳島県支部(徳島)	香川拳法クラブ A (香川)	岡山商科大学拳桃会 と瀬戸内道場(岡山)	岡山商科大学 日本拳法部 A(岡山)	

※少年の部正式競技

第6回(団体戦) (個人戦) 2010(平成22)年10月3日 今治市/緑の広場(運動公園)総合体育館

試合部門	優勝	準優勝	優秀賞		
幼年	中川 和真 無級 (徳島/土成道場)	田村虎太郎 10級 (愛媛/今治拳友会)	新舎菜々美 無級 (岡山/岡山道場)	柳井 将希 無級 (岡山/岡山道場)	矢野 正宗 10級 (愛媛/松山拳友会)
小学生 1年男子	中川 裕翔 7級 (徳島/土成道場)	宗本 有生 無級 (徳島/楠州会)	三浦 崇太郎 無級 (徳島/土成道場)	郡 蓮太 無級 (徳島/国府道場)	柴田 恭輔 無級 (徳島/楠州会)
小学生 1・2年女子	伊藤 凜香 8級 (愛媛/今治拳友会)	高橋 典子 8級 (愛媛/今治拳友会)	田村 百萌 8級 (愛媛/今治拳友会)	矢野 百姫 9級 (愛媛/東温拳友会)	富士原 遥香 8級 (広島/拳心館広島支部)
小学生 2年男子	原 泰伸 6級 (徳島/方上拳法クラブ)	佐々木 悠 8級 (広島/広島拳法クラブ)	谷本 真之輔 6級 (岡山/総社道場)	吉田 陽之介 6級 (岡山/瀬戸内道場)	坂口 慎弥 5級 (岡山/瀬戸内道場)
小学生 3年	新舎 拓巳 4級 (岡山/岡山道場)	門田 佳大 7級 (愛媛/今治拳友会)	原田 壱成 5級 (徳島/方上拳法クラブ)	柴田 亮汰 6級 (徳島/楠州会)	光永 直哉 6級 (徳島/土成道場)
小学生 4年男子	丸岡 誠 3級 (徳島/国府道場)	郡 新大 3級 (徳島/国府道場)	世戸 峻登 5級 (徳島/土成道場)	植月 嵐丸 6級 (広島拳友会)	築本 昭広 4級 (徳島/方上拳法クラブ)
小学生 4年女子	原田 実和 3級 (徳島/国府道場)	門田 茉那美 7級 (愛媛/今治拳友会)	松永 麻鈴 6級 (徳島/楠州会)	橋本 奈実 7級 (徳島/国府道場)	宗本 有由 8級 (徳島/楠州会)
小学生 5年	井村 直貴 5級 (広島/広島拳法クラブ)	川部 翔太 3級 (岡山/瀬戸内道場)	南 颯馬 3級 (徳島/国府道場)	今石 開登 4級 (広島/広島拳法クラブ)	黒津 快斗 5級 (徳島/楠州会)
小学生 6年	光永 達哉 3級 (徳島/土成道場)	鈴木 真生 3級 (徳島/土成道場)	森川 陽貴 2級 (徳島/土成道場)	米原 悠人 3級 (徳島/土成道場)	武間 圭吾 2級 (徳島/方上拳法クラブ)
中学生 男子	丸岡 和生 無級 (徳島/国府道場)	松尾 俊季 2級 (徳島/土成道場)	今石 優飛 4級 (広島/広島拳法クラブ)	山元 竜一 3級 (岡山/瀬戸内道場)	大戸井 啓人 3級 (徳島/土成道場)
中学生 女子	藤原 翼 2級 (岡山/瀬戸内道場)	二ノ宮 遥香 2級 (広島/広島拳法クラブ)	川崎 百恵子 4級 (岡山/瀬戸内道場)	高橋 佳江 5級 (愛媛/今治拳友会)	
試合部門	優勝	準優勝	第3位	敢闘賞	
一般女子	田村 麻由美 3級 (愛媛/今治拳友会)	楠橋 慶子 2級 (愛媛/今治拳友会)	木村 優里 2級 (広島/広島大学)	岡部 起代子 7級 (愛媛/今治拳友会)	
一般 (段外者)	宮川 昇蔵 無級 (香川/陸自善通寺)	松岡 雅芳 無級 (香川/陸自善通寺)	井上 翔太 無級 (香川/陸自善通寺)	田村 寛大 無級 (香川/陸自善通寺)	
【団体】	香川拳法クラブ (香川)	中京大学拳真会 (愛知)	陸自善通寺A (香川)	松山拳友会 (愛媛)	

日本拳法を初めてご覧になる方のために

日本拳法は、拳技および蹴技の他に組枝(投げ技、関節技)を加えた独自のスポーツであります。

特色

防具を使用することによって被撃傷害をなくし、選手が自由に、力一杯に試合を行い得る様になっています。防具は面、胴、股当てを用い、手はグローブをはめて試合を行います。この防具によって、かつてはできなかった蹴技を混えた拳法の試合が可能となったのであります。

試合に見られる主な技

●拳技

- ①直突き＝ボクシングのストレートに相当するもので、専門的には素突(ボクシングのストレートに殆ど同じ)、捻突(空手の突によく用いられるもの)、波動拳(手首の捻転力を最大限に利用する日本拳法独自の突き)等の種類があります。
- ②横打＝ボクシングのスイング・フックの類。
- ③外打＝いわゆるバックハンドで横打と反対の方向へ外側に向かって打つ打法。
- ④斜打＝横打の要領で、斜めに拳を打ち下ろす打法。
- ⑤場打＝ボクシングのアップercutに相当。

●蹴技

- ①突蹴＝足で突く様にする蹴り方で、日本拳法では一番よく使われます。
- ②揚蹴＝下から蹴り揚げる蹴り方。
- ③横蹴＝横から回して蹴る。
- ④膝蹴＝相手に組みついた際などに使う。膝頭による蹴打。
- ⑤踏蹴＝倒れた相手などに用いる踏みの蹴。

●防御技

以上の拳、蹴技に対しては、体とかわしと受手で防ぎます。かわしには、反身、退身、側身、開身、沈身、潜身の6つと、受手には横受、上受、下受、掬受の4つがあり、これが様々に応用され、またかわしと受が一緒になって防技となります。

組打ち技にも色々ありますが、ここでは省略します。

試合のみどころ

●体力の優れた選手は、投げ技、関節技等によって相手を制して技を決めようとするのに対し、非力のものは組み技を避けて拳足でする突き、蹴り等にて勝ちを制しようとするので、その作戦の巧拙を見ると非常に興味深いものがあります。

●選手が狙うチャンス

- ①相手が気合を抜いて動きを止めた瞬間。
- ②相手の技が外れた直後で相手の体勢が崩れた瞬間をすかさず追い込んで打つ。
- ③相手が技を出そうとして一瞬迷った瞬間を狙う。
- ④相手を投げた場合すかさずつけ入って一瞬にして技を決める。
- ⑤試合開始直後、相手が不用意に立った瞬間を狙う。

●小さくとも、また音がしなくとも十分に利く技がありますので、その様な点にも注意で見られると興味が倍加します。